

設計の働き方改革へ貢献する上司、先輩、同僚に対する

検図負担軽減と凡ミス退治の 上手な進め方

日時

2025年5月19日(月)

10:00~17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場

日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市中区泉2-21-28

講師

伊豫部 将三 氏

伊豫部技術士事務所 所長・技術士

受講料

46,200円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 検図方法の仕組み改善を起点とした図面の記載ミス・間違いを解消する方法が学べます。
- 最近の働き方改革を踏まえつつ、若手や後輩への効果的な検図の指導方法が学べます。
- 機能検図、コスト検図、製図・作図法検図の観点での進め方と凡ミス防止策が得られます。
- 講師が保有する101の図面の凡ミス事例と対策方法をセットで習得できます。

プログラム

1. 仕組み面から改善が必要な間違いには

- 外注設計者活用に伴う間違いを防ぐには
- 補助者活用に伴う間違いを防ぐには
- 所要工数見積もりに伴う間違いを防ぐには
- 日程計画設定に伴う間違いを防ぐには
- 設計審査の漏れに伴う間違いを防ぐには
- 購入材料・部品仕様変更に伴う間違いを防ぐには
- 設計審査・見直し検図省略・廃止に伴う間違いを防ぐには

2. 上司・先輩指導面の改善が必要な間違いには

- 判断による間違いを防ぐには
- 思い違い・誤解・先入観による間違いを防ぐには
- 原理・方式・構造選択による間違いを防ぐには
- 仕様・性能・特性・強度設定に伴う間違いを防ぐには
- 強度不足に伴う間違いを防ぐには
- 既存データが無い物で間違いを防ぐには
- 客先仕様打合せ時の聞き取り間違いを防ぐには
- 機能設定・配置・組合せ上の間違いを防ぐには
- 機構上の選択間違いを防ぐには
- 競合品分解参考時の設計条件調査に伴う間違いを防ぐには
- 特許・文献調査の漏れに伴う間違いを防ぐには
- 市場・ユーザークレーム・トラブル発生時の対応間違いを防ぐには
- 構想・計画立案着手時の間違いを防ぐには
- 基本設計・機能設計・原理設計着手時の間違いを防ぐには
- 詳細設計・生産設計・部品設計着手時の間違いを防ぐには
- 組立図作成時の間違いを防ぐには
- 先輩・上司の事前指導不備に伴う間違いを防ぐには
- 担当者のモラル・業務意欲低下に伴う間違いを防ぐには、他

3. 教育面から改善が必要な間違いには

- 知らないことによる間違いを防ぐには
- 工法選択に伴う間違いを防ぐには
- 図面表示による間違いを防ぐには
- 材料選定に伴う間違いを防ぐには
- 熱処理・表面処理選択に伴う間違いを防ぐには
- 試験データ集計・解析に伴う間違いを防ぐには
- コスト設定に伴う間違いを防ぐには
- ユーザ・ニーズ把握間違いを防ぐには
- 熱・腐食・温度雰囲気条件設定に伴う間違いを防ぐには
- 応力・振動・衝撃・荷重負荷条件設定に伴う間違いを防ぐには

4. 標準化・資料化面から改善が必要な間違いには

- 指針・基準・参考資料類不備に伴う間違いを防ぐには
- 法律・条例・公的規制に伴う間違いを防ぐには
- 規格・基準・資料改訂不備に伴う間違いを防ぐには
- チェックリスト不備に伴う間違いを防ぐには

5. 担当者自身の努力で対応可能な間違いには

- 不注意による間違いを防ぐには
- 見落とし・忘れによる間違いを防ぐには

- 記入・転記による間違いを防ぐには
- 事後点検不備による間違いを防ぐには
- 計算・演算に伴う間違いを防ぐには
- 取合い・嵌合い・組合せに伴う間違いを防ぐには
- 旧図面・既存図面活用に伴う間違いを防ぐには
- CADの編集設計に伴う間違いを防ぐには
- 購入部品手記に伴う間違いを防ぐには
- 部品点数の数え間違いを防ぐには
- 運動・動作干渉の間違いを防ぐには、他

6. 製造部門・他部署の協力が必要な間違いには

- 製造：ラインクレーム・トラブル発生時の対応間違いを防ぐには
- 加工限界・作業限界が変わることに伴う間違いを防ぐには
- 加工機械・工具・治具の製造設備変更に伴う間違いを防ぐには
- 機構系工法設計に伴う間違いを防ぐには
- 保全性確保設計に伴う間違いを防ぐには、他計101のケーススタディをご紹介します。

7. 設計の働き方改革に貢献する凡ミス未然予防対策としての検図の考え方

- 検図による修正指摘と手戻りを減らすには、設計着手時から開始する
- 自分で確保できる品質は、設計者自身によるセルフチェックで確保する原則を
- 間違い防止に必要な基礎技術教育と指導取組み法
- 標準図・基準・手順書・手本図などの資料類整備取組み法

8. 設計の働き方改革と凡ミス退治に必要な検図の基本および心得と原則

- 本人が防げる簡単な間違いは、本人が原則予防し他人へ頼らない
- 判らないことは勝手に判断せず、先輩へ教わるか、試験で事前検証する
- その都度その場で、設計ツールと指差し照合、確認印付けの習慣化
- 取合い・嵌合い・組合せ・相互関連ある個所同士の一緒記入を習慣化・他

9. 機能検図と凡ミス防止

- 基本仕様設定面からの検図法
- 原理・方式・構造選択面からの検図法
- 性能値・品質値設定面からの検図法

10. コスト検図と凡ミス防止

- コスト選択面からの検図法
- 工法設定面からの検図法
- 製造品質確保面からの検図法・他

11. 製図・作図法検図と凡ミス防止

- 記入・入力ミス防止面からの検図法
- 干渉防止面からの検図法
- 演算・計算間違い防止面からの検図法・他

12. 凡ミス事例と改善法

- 凡ミスとトラブル事例
- 設計トラブル改善事例

◎質疑とコンサルテーション

受講にあたり

開催決定後、受講票並びに請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

